

■教育大綱の実現に向けた検討資料

＜A:取組済⇒取組みの強化・充実 B:具体的な取組みの推進 C:未実施⇒取組みに向けた検討＞

教育大綱		関係部署		現状の取組み	課題・懸案	今後の具体的取組み	
		市長	教育委員会				
【方針1：生涯にわたる基礎を培う就学前教育・保育の充実】							
1-1	＜質の高い幼児教育＞ 生涯にわたる人格形成や義務教育への基礎を養うため、一人ひとりの子どもに応じた質の高い幼児教育に取り組みます。	こども課	学校教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【こども課】 ◇保育園・幼稚園の共通カリキュラム作成 ◇人事交流・ワークショップ(幼・保職員の合同研修)による資質向上		A	
1-2	＜総合的な就学前教育・保育＞ 多様化する子育て支援ニーズに対応するため、幼保の連携強化や一体化により、総合的な就学前教育・保育に取り組みます。	こども課	学校教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【こども課】 ◇「こども未来館たかわし」設立に向けた幼・保の代表園長による「こども園会議」の開催 ◇15ヵ年モデルカリキュラムの推進		A	●「3-1：少子化に対応した魅了ある学校園づくり」の検討に応じて、各地域における幼保一体化などによる新たな就学前教育・保育の検討 ●幼・保の現場レベルでの相互理解のための合同・連携研修、交流機会の強化
【方針2：子どもの生きる力を育む学校教育の充実】							
2-1	＜確かな学力＞ ICTなどを活用した指導により、学習意欲や興味・関心を引き出し、基礎的な知識・技能の確実な修得や、学校内外の様々な人々との協働学習、多様な体験を通じた課題解決型の学習など新たな形態の学びにより、「確かな学力」を育成します。	—	学校教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 ■子ども読書活動推進計画の実施 【政策推進課特命PT】 ◇留守家庭児童会における学習支援事業 ◇はびきの中学生Study-O事業 ◇小学校英語サポート事業	【学校教育課】 ◇ICT機器整備の促進	A	
2-2	＜豊かな心・健やかな体＞ 教育活動全体を通じた道徳・人権教育の充実により、豊かな情操、規範意識や他者への思いやりのある「豊かな心」と、学校保健・体育、学校給食等の充実により、生涯にわたってたくましく生きるために必要な「健やかな体」を育成します。	人権推進課	教育総務課 (給食センター) 学校教育課 図書館課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【政策推進課特命PT】 ◇小・中学校スポーツクラブ活動事業 【人権推進課】 ◇人権作文の実施(中学生) ◇人権教室・人権の花運動の実施(小学校2校)		A	
2-3	＜国際的素養の養成＞ グローバル化する社会において、世界へも目を向けられるよう、早期段階からの実践的な英語教育による語学力・コミュニケーション能力の養成や、多様な文化や価値観への理解を深める機会を充実します。	市民協働 ふれあい課	学校教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【政策推進課特命PT】 ◇小学校英語サポート事業	【学校教育課】 ◇英語の専門的な教員免許を有しない小学校教員の指導力向上	A	
2-4	＜教職員の能力向上＞ 新たな形態の学びを展開するための教職員の能力・確かな指導力の向上を図り、学びの到達度に応じたきめ細かな指導に取り組みます。	—	学校教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施		A	

■教育大綱の実現に向けた検討資料

＜A:取組済⇒取組みの強化・充実 B:具体的な取組みの推進 C:未実施⇒取組みに向けた検討＞

教育大綱		関係部署		現状の取組み	課題・懸案	今後の具体的取組み
		市長	教育委員会			
【方針3:子どもの健やかな成長を支える環境づくり】						
3-1	＜少子化に対応した魅力ある学校園づくり＞ 子どもたちを取り巻く環境の変化に的確に対応し、多様な教育活動の展開や教育水準の向上を図るため、地域に相応しい魅力ある学校園づくりに取り組みます。併せて、効果的な教育活動の実現に向け、学校区の再編、合同授業などの集団教育活動や幼稚園・保育園の在り方の検討を進め、子どもたちが切磋琢磨できる、活力ある教育環境づくりに取り組みます。	管財用地課	教育総務課 学校教育課	■こども夢プランの実施 【管財用地課】 ◇施設管理・統廃合は、各所管課により個々に整備・検討。	【管財用地課】 ◇学校園は地域に根付いており、統廃合（適正規模化・適正配置）により、地域との関わりに希薄化のおそれあり。 【学校教育課】 ◇小規模化が進行する中での効果的な幼稚園教育、特に集団教育に関する懸念。 ◇地域・関係機関との連携が必要（地域課題）	C ●少子化に対応した魅力ある学校園の在り方の検討 ⇒学校区の再編、規模適正化・適正配置、教育環境整備などに係る実施方針の打出し
3-2	＜一貫教育の推進＞ 保育園・幼稚園から小学校・中学校までの円滑な接続を図るため、切れ目のない、特色ある一貫教育を推進し、義務教育学校の設置や保幼小中の連携をはじめとした教育の充実に取り組みます。	こども課	学校教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【こども課】 ◇研修など幼・保の職員の交流機会を拡充。	【こども課】 ◇国において、保育所における「教育」や、小学校への接続を踏まえた「保育」のあり方が議論。それらを意識した対応が必要。 【学校教育課】 ◇具体的な取組みへの系統的整理が必要。 ◇幼・小・中の教職員の固定的価値観の払拭が必要。	B ●羽曳野中学校区における義務教育学校の開校(H30年度) ●保幼小中一貫教育推進のための具体的プランのもと進行管理・効果検証を実施 ●保・幼・小・中の現場レベルでの相互理解のための合同・連携研修、交流機会の強化
3-3	＜学習機会の充実・支援＞ 家庭の経済的・社会的な要因により学力定着などが困難な児童・生徒の基礎学力の定着や学習意欲の向上が図られるよう、きめ細かな指導や学び直しの機会を充実します。	こども課 福祉総務課	学校教育課 社会教育課	■こども夢プランの実施 ■地域福祉計画の実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【福祉総務課】 ◇困窮家庭の児童で学習支援が必要な場合、中学生Study-Oに繋いでいる。	【福祉総務課】 ◇ケースワーカー・相談支援員と教育委員会・学校との連携・情報共有が不十分。	A
3-4	＜様々な困難を抱える児童・生徒へのきめ細かな対応＞ いじめ・不登校等の解消に向け、学校・家庭・地域・関係機関が連携した取り組みを一層強化し、子どもの状況に応じた指導や相談体制を充実します。	こども課 福祉総務課	教育総務課 学校教育課 社会教育課	■こども夢プランの実施 ■地域福祉計画の実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【こども課】 ◇専門職員の配置、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の円滑な利用に資する支援、保護者等への情報提供・助言。 【福祉総務課】 ◇ふれあいネット雅びなどで、課題を抱えた子どもに対する学校と地域が連携した支援体制の構築を進めている。 【学校教育課】 ◇スクールカウンセラー配置事業	【こども課】 ◇国の子どもの貧困対策に関する大綱により、学校を基本として福祉関係機関等との連携を図る（仮称）子育て連携支援員を平成28年度に配置予定。その人材確保が課題。 【福祉総務課】 ◇2年前から実施、事例を積み重ね連携を深める。 【学校教育課】 ◇いじめ防止基本方針の策定・運用体制の整備 【社会教育課】 ◇青少年ひきこもり対策への対応は職員体制の事情から不十分。	A
3-5	＜安全・安心の確保＞ 子どもたちの安全・安心を確保するため、防犯・防災教育や学校園内の安全管理体制を充実するとともに、施設の耐震化と老朽化の対策を推進します。	危機管理室 道路公園課	教育総務課 学校教育課 社会教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【道路公園課】 ◇通学路にグリーンベルトの設置、交通安全総点検を実施。 【危機管理室】 ◇自治会に対し、防犯カメラの設置費用を補助。 ◇防犯灯の設置・維持管理費用を補助。 【社会教育課】 ◇安全見守り活動・こども110番見守り事業	【社会教育課】 ◇安全見守り活動事業やこども110番見守り事業における協力者の高齢化。	A

教育大綱		関係部署		現状の取組み	課題・懸案	今後の具体的取組み	
		市長	教育委員会				
【方針4:子どもを育む学校・家庭・地域の連携】							
4-1	＜地域連携＞ 学校・家庭・地域などの多様な主体が、互いに連携協働して、地域社会全体で子どもを見守り、健全に育む地域教育力の向上を図り、教育コミュニティづくりを促進します。	こども課 福祉総務課 市民協働ふれあい課	学校教育課 社会教育課	■こども夢プランの実施 ■地域福祉計画の実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【こども課】 ◇民生委員・校区福祉委員会が開催する子育てサロンの支援(子育てを終えた世代や専門家(保育士や保健師)による育児相談・子育て中の親の仲間づくりや情報交換の場の提供) 【社会教育課】 ◇放課後こども教室事業 ◇学校支援地域本部事業 ◇校区青少年健全育成協議会支援事業	【市民協働ふれあい課】 ◇地域コミュニティの核となる町会への加入減少 【福祉総務課】 ◇現状、ふれあいネット雅などで具体的な取組には繋がっていない。 【社会教育課】 ◇PTA(保護者)と地域の連携が進んだが、一部の校区に留まっている。	A	
4-2	＜家庭教育支援＞ 家庭教育の主役となる親の教育力の向上が図られるよう、親が交流・相談できる支援体制づくりや子どもの成長段階に応じた親の学習機会を充実することにより、家庭教育を支援します。	こども課 福祉総務課	学校教育課 社会教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【こども課】 ◇地域子育て拠点事業の実施 保護者・地域が共にこどもを育めるよう、保護者が気軽に集える機会や場所の充実・子育てサークルの育成や地域の子育て支援者との交流・連携。 【福祉総務課】 ◇社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会が中心となり、各小学校区で親が交流・相談できる子育てサロンを実施。 【社会教育課】 ◇子育て親育ち支援学習事業	【こども課】 ◇子育てサークルの設立が進んでいない。子育て講座の工夫が必要。 【社会教育課】 単独での事業展開に限界があり、庁内関係課と連携して幅広く進めていくことが必要。	A	
4-3	＜ふるさと愛の育成＞ 羽曳野に息づく自然、歴史・文化を通じて、学校教育での学びや体験学習により、ふるさと羽曳野を知り、地域で受け継がれる伝統や行事、様々な人々とのふれあいにより、ふるさと羽曳野への愛着や誇りを育成します。	市民協働ふれあい課	学校教育課 社会教育課	■こども夢プランの実施 ■教育活性化アクションプランの実施 【市民協働ふれあい課】 ◇伝統芸能保存育成団体の支援。 【歴史文化推進室】 ◇歴史的文化遺産の魅力発信 ◇学校への出張授業・現地や展示施設での案内、解説・出土遺物の整理作業等の体験学習	【市民協働ふれあい課】 ◇高齢化により、後世に継承していく人材の育成。 【歴史文化推進室】 ◇学校教材としての土器等の出土遺物の活用について学校への周知が不十分。 ◇出前授業や展示室見学等の日程調整や学校のニーズ把握の仕組みが確立していない。	A	

教育大綱		関係部署		現状の取組み	課題・懸案	今後の具体的取組み	
		市長	教育委員会				
【方針5：市民の生涯を通じた学びの充実】							
5-1	＜生涯学習の充実＞ 市民だれもが生涯にわたって、生きがいをもって心豊かで健康に暮らせるよう、ライフステージに応じた学習、文化芸術やスポーツ活動に親しめる機会や環境を充実します。	福祉支援課 市民協働 ふれあい課	生涯学習室	【市民協働ふれあい課】 ◇はびきの市民大学事業を実施。 【福祉支援課】 ◇埴生南老人いこいの家、向野老人いこいの家において、教養講座、健康増進、レクリエーションのための場を提供。 【スポーツ振興課】 ◇中央スポーツ公園、グレープヒルスポーツ公園や茶山テニスコートの改修など環境整備を推進。 【社会教育課】 ◇市民文化祭の開催 【陵南の森公民館】 ◇市民生涯学習講座の開催 【歴史文化推進室】 ◇展示施設での出土遺物等の公開 ◇生涯学習講座等での講演 ◇歴史ウォークの開催 ◇博物館への事業提携や協力 など 【図書館課】 ◇図書館資料の整備充実、図書館サービスの充実。	【市民協働ふれあい課】 ◇多様なニーズに応じた開催の内容や日時設定などの検討。 【福祉支援課】 ◇施設や設備の老朽化 【スポーツ振興課】 ◇各地域でスポーツに対する参加意識に差がある。 【陵南の森公民館】 ◇男性、若年層の受講者の割合が低い。 【歴史文化推進室】 ◇現状施設では、保存の観点から金属製品や有機物遺物の展示公開が困難、展示公開物が限定的となっている。展示・保存施設の整備が必要。 【図書館課】 ◇資料費の確保、さらなるOA化、人員体制の確立。	A	
5-2	＜地域への参画推進＞ 市民一人ひとりが、これまでの人生における多様な経験や知識、技能を発揮し、自主的な活動や交流を通じて、活躍できる、活力と創造にあふれる地域をめざします。	福祉総務課 福祉支援課 市民協働 ふれあい課	生涯学習室	【市民協働ふれあい課】 ◇市民活動を支援する情報ライブラリーの運用。 【福祉総務課】 ◇地域で子どもから高齢者までが集える共生型サロンを地域住民が主体となって立上げ、運営できるよう社会福祉協議会が中心となって支援。 【福祉支援課】 ◇羽曳野市シルバー人材センターに対し、事業実施に要する経費の一部を助成。 【社会教育課】 ◇教育コミュニティづくりの推進 【陵南の森公民館】 ◇市民生涯学習講座の受講生が結成する自主サークルの支援 【歴史文化推進室】 ◇歴史的文化遺産を活かしたまちづくりを実践するNPO法人やボランティア等と連携・協力して、来訪者への歴史ガイド、史跡地の環境保全、指定文化財の公開や歴史講演会の開催等を実施。	【市民協働ふれあい課】 ◇他の団体や法人格を持つ団体との交流も視野に入れ、情報ライブラリーを拡充。 【福祉総務課】 ◇高齢化により、担い手不足。 【福祉支援課】 ◇段階的な助成額縮減により、財政的に運営が厳しくなっており、助成額の増額要望あり。 【社会教育課】 ◇ボランティア・協力者の固定化・高齢化 ◇新たな地域人材の発掘、育成及びコーディネート（活動の場の提供等）は、教育にとどまらず、全庁的な検討と連携が必要。 【陵南の森公民館】 ◇地域への参画までには至っていない。 【歴史文化推進室】 ◇相互の恒常的な連絡調整等の仕組みが必要。	A	